

# 1-Touch Laser Photo™

について

## 始めに

ユニバーサルレーザーシステムズの1-Touch Laser Photo (1-タッチレーザーフォト)は写真をレーザー彫刻が可能な画像に簡単に変換処理ができるソフトウェアで特殊なフィルタリング処理により加工する素材に適した写真画像のコントラスト調整を行います。

## 動作環境

ソフトウェアを使用するために必要なPCの性能

- Windows XP 又はVista (32ビットのみ)
- 2ギガ以上のCPU
- 1ギガ以上のメモリー
- ULSプリンタードライバーバージョン2.56.44以降

最大305x305ミリサイズの写真(それ以上のサイズの場合にはより高性能のPCが必要)

## ソフトウェアのインストール

### 重要事項

1-TOURCH LASER PHOTOをインストールする前に.NET FRAMEWORK2.0以上をインストールする必要があります。NET frameworkはマイクロソフトのサイトからダウンロードできます。<http://msdn.microsoft.com/en-us/netframework/aa731542.aspx>

1. 1-Touch Laser Photoのアイコンもしくはダウンロードした実行ファイルをダブルクリックしてインストールします。
2. 1-Touch Laser Photoを起動させOKを押します。
3. ライセンスオプションを選択します。
  - a. 1-Touch Laser Photoのアクティベーションを行います。既に登録情報をお持ちであればこのオプションを選んでください。
  - a. ライセンスIDとパスワードを入力します。ライセンスIDを取得していなければ、Where is my License IDを選択すると、メールで必要な情報が送られてきます。(登録が必要です。登録をしていなければ [support@ulsinc.com](mailto:support@ulsinc.com) に登録をしてください。)
  - b. 評価使用期間として、1-Touch Laser Photo を30日間の無料で試用することができます。3日を過ぎるとプログラムが作動しなくなります。

# 1-TOUCH LASER PHOTOの概略



**FILE** – 画像処理をするイメージの選択し、加工工程へ送り、1-Touch Laser Photoを終了

**EDIT** – 画像編集コマンドの取り消し、やり直し及び定規の単位変更(インチとセンチ表示)

**HELP** – ヘルプの表示と1-Touch Laser Photo ソフトウェアのバージョン情報の表示

**FILE NAME** – 編集画面に開かれている画像のファイル名を表示

**HEIGHT and WIDTH** – 画像サイズの編集(インチ又はセンチ表示)。(注)変更できるのは縦、あるいは横のどちらか一方に限定されます。これは画像のアスペクト(縦横)比を維持するためです。最大サイズは12×12(インチ)、305×305(ミリ)ですが、使用するPCの性能(CPU及びメモリ)次第ではこれ以上の大きさも可能。

**APPLY RESIZE** – 変更した縦もしくは横の寸法を画像に反映

**MIRROR IMAGE** – 水平方向に画像を反転

**ROTATE** – 時計回り方向に90度づつ画像を回転。

**CROP** – 画像の一部を3種類の形(四角、丸、楕円)自由に切り取り(トリミング)

**HEIGHT and WIDTH** – トリミングを行う画像の縦と横の寸法を数値で入力(単位はインチ又はセンチ)

**APPLY CROP** – 変更された画像の形状と寸法を確定。(注)1-Touch Laser Photoでレンダリングをした画像はリサイズできません。変更した画像のサイズが正しく表示されないときには最初から編集操作をやり直してください。

# 操作説明

## 開始



1-Touch Laser Photoを開始するために、アイコンをダブルクリックします。

プログラムがスタートしたら、写真を選択します。選択できる写真の種類は、JPG, .JPEG, .BMP, .PNG, .TIF OR .TIFFファイルです。写真を選択したらOpenをクリックします。 図1参照。

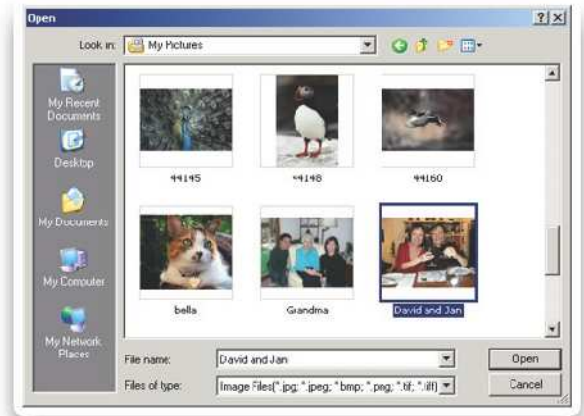


図1. 写真を選択してOpenをクリック

### STEP 1: 画像のリサイズ (オプション) – 図2 参照

高さ(縦)又は幅(横)を選択して変更したいサイズの数値を入力し、Apply Resizeを選択する。

(注):高さ(縦)もしくは幅(横)のどちらか一方のみ選択できます。両方は選択できません。これはアスペクト(縦横)比を維持するためです。最大サイズは12x12(インチ)、305x305(ミリ)ですが、使用するPCの性能(CPU及びメモリ)次第ではこれ以上の大きさも可能。



図2. 画像のリサイズ、ミラーリング、回転

### STEP 2: 画像のトリミング(切り取り) (オプション) – 図3及び3a 参照

1. Crop Icons からトリミングをしたい形を選びます。
2. 次に、左クリックしながらドラッグをして選択した形状を画像上に作成します。トリミングした形の大きさは縦又は横のサイズを数値で入力するか、形状のコーナーかサイドアンカーをクリックしてドラッグすることで自由に変更することができます。 四角と楕円は縦(高さ)、横(幅)を個別にコントロールできますが、円は縦と横が一定です。
3. **APPLY CROP** – 変更された画像の形状と寸法を確定。



図3. トリミング形状 と寸法数値入力

(注) 1-Touch Laser Photoでレンダリングをした画像はリサイズできません。変更した画像のサイズが正しく表示されないときには最初から編集操作をやり直してください。

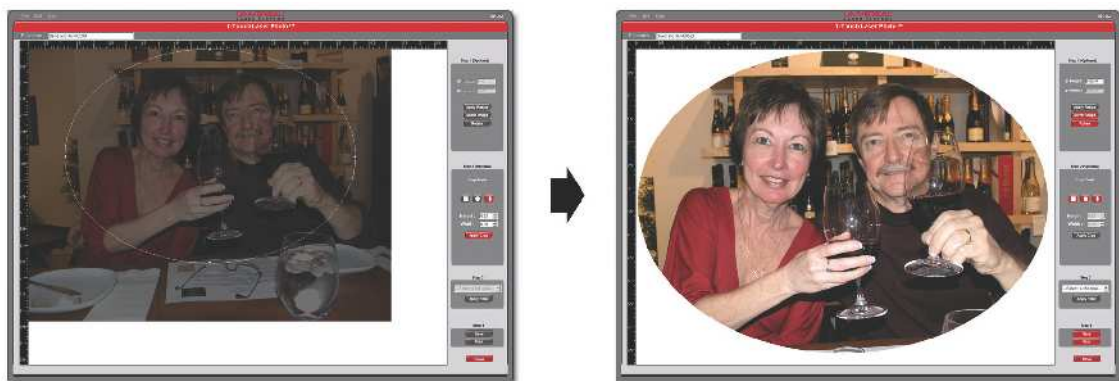


図3a. トリミングをした画像の範囲は境界線上のポイントをクリックして変更することができます。又、画像上をクリックして任意の場所に移動することができます。

### STEP 3: 素材を選択 – 図4, 4a参照

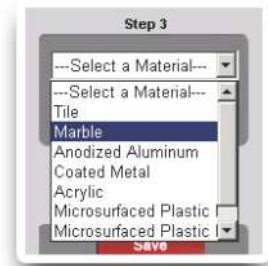


図4. 素材の選択

1. 画像変換フィルタリングが可能な素材
  - タイル
  - 大理石
  - アルマイト皮膜アルミニウム板
  - 被服金属
  - アクリル板
  - マイクロサーフェイプラスチック(素材:アクリルとABS樹脂)- 表面明
  - マイクロサーフェイプラスチック(素材:アクリルとABS樹脂)- 表面暗
  - 皮木とガラス用の画像変換フィルタリングは準備中です。

2. **APPLY FILTER** – 選択した素材に適した画像変換を行います。このボタンをクリックすると処理画面が表示されます。加工時間はお使いのPCの性能及び画像の大きさで決まります。

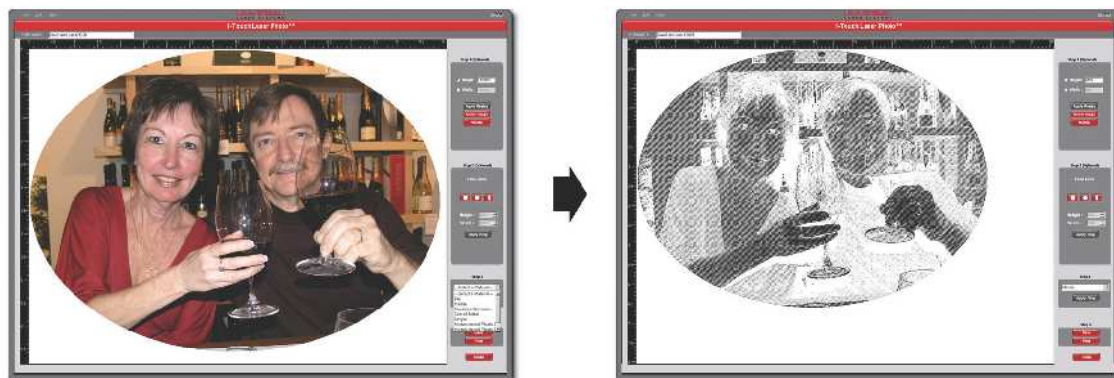


図4a. 画像処理された写真の例

### STEP 4: SAVE と PRINT

**SAVE** – フィルタリング処理後の画像をBMP, JPEG, PNG 又はTIFF形式でPCに保存します。

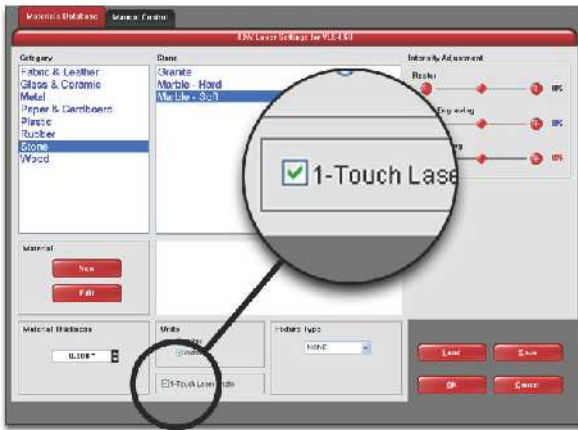
**PRINT** – 処理画像をULSプリンタドライバーに転送します。

## 画像の加工

お使いの機種がVersaLASER® (VLS), Professional Series (PLS) or Industrial Series (ILS)であれば、次の手順で加工を行ってください。 その他の機種の場合には、次の章に記載されている手順に従ってください。

フィルタリング処理をされた画像はPRINTボタンをクリックすると1-Touch Laser Photoからダイレクトに加工できます。画像を保存して他の画像ソフトで使用することもできます。

Printを選択後、使用するレーザー加工機を指定します。Materials Database画面では素材の種類を選び、Manual Control画面では加工の設定を手動で行います。最後に1-Touch Laser Photoにチェックを入れ、OKをクリックし、加工を行います。



Materials Database



Manual Control Driver

## M,V,Xモデル等の旧機種では、次の手順に従ってください。

1-Touch Laser Photoの保存機能で、画像をPCに保存します。

その画像を画像編集ソフトで加工テーブルの中心部にインポートした後、加工を開始します。

1. パワーセッティングを行います。
2. Advanced Tab画面のImage Enhancement機能をオフにします。— 図1
3. 3Dモードをオンにします。— 図2



図1

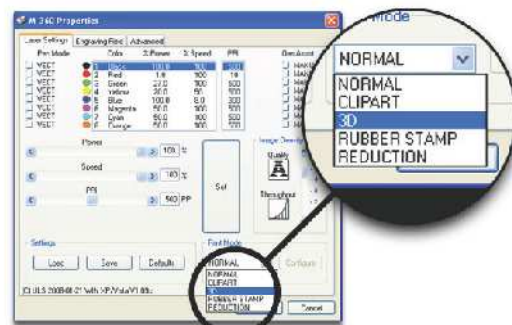


図2

4. 加工開始します。